

福井エリア地域原子力防災協議会（第4回）

議事要旨

1. 開催要領

開催日時：令和2年7月30日（木） 14：00～14：40

場 所：中央合同庁舎第8号館災害対策本部会議室（テレビ会議）

出席者：別紙のとおり

2. 議事次第

議題 「高浜地域の緊急時対応」及び「大飯地域の緊急時対応」
の改定について

3. 配付資料

資料1 福井エリア地域原子力防災協議会の構成員について

資料2 「高浜地域の緊急時対応」の改定について

資料3 高浜地域の緊急時対応（概要版）

資料4 高浜地域の緊急時対応（全体版）

資料5 「大飯地域の緊急時対応」の改定について

資料6 大飯地域の緊急時対応（概要版）

資料7 大飯地域の緊急時対応（全体版）

4. 会議概要

- 荒木内閣府政策統括官（原子力防災担当）から、福井エリア地域原子力防災協議会（第4回）開催に係る趣旨を説明。

- 水野内閣府地域原子力防災推進官から、資料2に基づき「高浜地域の緊急時対応」の改定について説明（両地域の改定内容は同様であるため、「高浜地域の緊急時対応」により説明）。

- 荒木内閣府政策統括官（原子力防災担当）から、福井県、京都府及び滋賀県に対して、内閣府の説明等を踏まえて、各府県の今後の具体的な取組等を確認。

- 櫻本福井県副知事から、平成30年の原子力総合防災訓練の実施結果に基づく改善がなされ、福井県大飯原子力防災センターへ現地対策本部を一元化する等、高浜発電所及び大飯発電所がともに被災した場合における具体的な対応が明記されるなど、避難計画の更なる充実、強化が図られた旨、発言。また、今般の新型コロナウイルス感染症対策を考慮した防護措置が追加されており、福井県としても、感染症流行下における原子力災害時に必要な資機材等の配備を進めているところだが、国においても、必要な資機材の整備や原子力災害時におけるバス避難や避難退域時検査等での感染症対策に関するガイドラインの策定など、積極的な支援をお願いしたい旨、発言。

- 古川京都府副知事から、今回の緊急時対応の改定を踏まえて、特に、感染症流行下における防護措置について、今後、訓練等による実証を行い、更なる具体化を図る旨、発言。また、万が一、原子力災害が発生した場合の避難の実効性を高めるため、感染症拡大防止対策を含めた必要な資機材等の確保や実動組織による支援等、国による支援をお願いしたい旨、発言。

- 西嶋滋賀県副知事から、今回の緊急時対応の改定を踏まえた訓練を実施し、実効性についての検証を行い、検証結果を踏まえた必要な修正を行うなど、絶え間なく計画の改善に取り組んでもらいたい旨、発言。また、滋賀県が行う訓練への参加や助言等の必要な支援をお願いしたい旨、発言。また、万が一、原子力災害が発生した場合の避難の実効性確保のための必要な調整等、特に、山間地域の孤立化集落の避難の実効性を高めるため、国において調整等をお願いしたい旨、発言。
- 各府県の意見に対して、荒木内閣府政策統括官（原子力防災担当）から、今般の新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた、感染症流行下での原子力災害時における対応について、今後、感染症流行下での防護措置を盛り込んだ緊急時対応に基づいた訓練を行い、その結果から得られる教訓事項等を踏まえた計画の見直しを継続し、実効性を高めていく旨、回答。また、感染症流行下で原子力災害が発生した場合の対応に必要となる資機材の整備等、国として、関係省庁が連携し対応していく旨、回答。さらに、各府県が行う訓練に対しても、実働組織を含めて、国として必要な支援を行う旨、回答。
- 荒木内閣府政策統括官（原子力防災担当）から、関係市町から発言があるか確認。
- 西嶋高浜町副町長から、緊急時対応の実効性を高めるための訓練の実施、原子力災害や広域避難に関する理解活動の継続をお願いしたい

旨、発言。また、多々見舞鶴市長から、舞鶴市のPAZやPAZに準じる地域へのハード、ソフト両面の支援の充実等についてお願いしたい旨、発言。

- 荒木内閣府政策統括官（原子力防災担当）から、屋内退避の有効性に関する報告書を住民理解のために活用してもらいたい旨回答。また、関係市町の意見を踏まえて、関係自治体の原子力防災の更なる充実につながる支援を継続する旨、回答。
- 荒木内閣府政策統括官（原子力防災担当）から、関西電力の取組について確認。
- 松村関西電力株式会社代表執行役副社長から、複数の発電所で災害が発生した場合における事故を想定した体制の構築、事故を想定した訓練を実施し、有効性の確認を行っている旨、回答。また、万が一、複数の発電所で災害が発生した場合に備えた対応として、例えば、福祉車両を新たに7台配備し、合計32台保有している旨、発言。さらに、感染症流行下における防護措置について、事業者として、感染症予防対策に万全を期すとともに、衛生資機材の提供について検討している旨、回答。
- 荒木内閣府政策統括官（原子力防災担当）から、その他の意見、発言等があるか確認。
意見、発言等なし。

- 福井エリア地域原子力防災協議会として、平成30年8月の原子力防災訓練の教訓事項等を踏まえ、また、感染症等の流行下における各種防護措置の具体化が図られており、より一層の具体化、充実化が図られていること、原子力災害対策指針に照らし、具体的かつ合理的な内容になっていることを確認。

- 荒木内閣府政策統括官（原子力防災担当）から、両地域の緊急時対応については、今後も訓練等を実施し、その結果を検証し、計画等の不断の改善につなげていくこととする旨、発言。

(以 上)

出席者一覧

(構成員)

荒木 真一	内閣府政策統括官（原子力防災担当）
山田 知穂	原子力規制庁長官官房核物質・放射線総括審議官
松本 裕之	内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）付危機管理審議官
臼井 智規	（代理出席）内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（災害緊急事態対処担当）付参事官補佐
清水 文宏	（代理出席）警察庁警備局警備運用部警備第二課長補佐
山口 真矢	（代理出席）総務省大臣官房総務課参事官
三浦 宏	（代理出席）消防庁特殊災害室長
清浦 隆	（代理出席）文部科学省研究開発局原子力課長
大坪 寛子	厚生労働省大臣官房審議官（危機管理担当）
松尾 浩則	（代理出席）農林水産省大臣官房地方課長
小澤 典明	（代理出席）経済産業省政策立案総括審議官兼首席エネルギー・地域政策統括調整官
禮田 英一	（代理出席）国土交通省大臣官房参事官（運輸安全防災担当）
君塚 秀喜	海上保安庁総務部参事官（警備救難部担当）
小森 繁	（代理出席）環境省水・大気環境局総務課長
三宮 圭介	（代理出席）防衛省統合幕僚監部参事官付災害派遣専門官
櫻本 宏	福井県副知事
古川 博規	京都府副知事
西嶋 栄治	滋賀県副知事

(オブザーバー)

西 哲也	岐阜県危機管理部次長
計倉 浩寿	関西広域連合広域防災局防災計画参事
西嶋 久勝	高浜町副町長
清水 鐘治	おおい町副町長
猪嶋 宏記	小浜市副市長
玉井 喜廣	若狭町副町長
西村 正樹	美浜町副町長
多々見 良三	舞鶴市長
岩本 正信	綾部市危機管理監

久野 義彦	南丹市総務部 危機管理対策室長補佐
今井 真二	宮津市副市長
伊東 尚規	福知山市副市長
石本 秀一	京都市行財政局防災危機管理室原子力災害対策課長
長澤 誠	京丹波町総務課危機管理室長
中川 義人	高島市副市長
松村 孝夫	関西電力株式会社代表執行役副社長

(内閣府)

佐藤 暁	内閣府大臣官房審議官 (原子力防災担当)
坂内 俊洋	内閣府政策統括官 (原子力防災担当) 付参事官 (地域防災担当)
水野 市朗	内閣府政策統括官 (原子力防災担当) 付参事官 (地域防災担当) 付地域原子力防災推進官